

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成29年4月27日 (2017.4.27)

【公開番号】特開2015-227550(P2015-227550A)

【公開日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2014-112910(P2014-112910)

【国際特許分類】

E 0 3 D 3/00 (2006.01)

E 0 3 D 1/26 (2006.01)

【F I】

E 0 3 D 3/00

E 0 3 D 1/26

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月21日 (2017.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジェットポンプ作用により洗浄水を便器本体に供給して洗浄する水洗大便器装置であって、

汚物を受けるボウル部と、このボウル部に洗浄水を導くための導水路とを備えた便器本体と、

この便器本体に供給する洗浄水を貯水する貯水タンクと、

少なくともその一部が上記貯水タンク内で水没した状態で配置されたジェットポンプユニットであって、その一端が上記便器本体の導水路の入口に接続され、その他端には吸引口が形成され、この吸引口が上記貯水タンク内の下部に位置するように配置されたスロート管と、このスロート管の吸引口に向けて洗浄水を噴射してジェットポンプ作用を誘発させるジェットノズルと、上記ジェットノズルから噴射される洗浄水の進行方向を上記スロート管の内部方向から上記スロート管の外部方向へと切り替える切替手段と、上記ジェットノズルへの洗浄水の供給を給止水する給水弁と、上記給水弁と上記ジェットノズルの間を連結するジェット流路と、上記ジェット流路の途中から分岐し、上記便器本体へ洗浄水を供給できる補給水流路と、を備えたジェットポンプユニットと、を有し、

上記ジェットポンプユニットは、この補給水流路へ供給される洗浄水の流量が、上記ジェットノズルから洗浄水が噴出されている間、継続してほぼ一定であることを特徴とする水洗大便器装置。

【請求項 2】

上記補給水流路の上記ジェット流路の途中から分岐する分岐部は、上記ジェットノズルの位置から所定距離上流側に配置される請求項 1 記載の水洗大便器装置。

【請求項 3】

上記ジェット流路はほぼ水平に延びている水平部分を有し、上記補給水流路の上記分岐部は、上記ジェット流路の水平部分に配置され、且つ、上記補給水流路を上方から上記ジェット流路に接続するように形成される請求項 2 記載の水洗大便器装置。

【請求項 4】

上記補給水流路の上記分岐部は上記貯水タンクの底面に固定されている請求項 3 記載の

水洗大便器装置。

【請求項 5】

上記ジェットポンプユニットは、さらに、上記貯水タンク内において規定水位以上の洗浄水が供給された場合に上記便器本体へ洗浄水を流出させるオーバーフロー管を備え、上記補給水流路が上記オーバーフロー管に洗浄水を供給するように配置されている請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の水洗大便器装置。

【請求項 6】

上記補給水流路は、吐水位置切替機構を備え、この吐水位置切替機構は、上記オーバーフロー管に取付けられ、上記補給水流路の吐水部が、上記オーバーフロー管内に向けられて、上記補給水流路からの洗浄水がオーバーフロー管を介して上記便器本体に供給される補給水有りモードと、上記補給水流路の上記吐水部が、上記オーバーフロー管外に向けられて、上記補給水流路からの洗浄水がオーバーフロー管外の上記貯水タンク内に向けて供給される補給水無しモードとを切替可能に形成されている請求項 5 記載の水洗大便器装置。

【請求項 7】

上記吐水位置切替機構は、さらに、上記吐水部を、上記オーバーフロー管内に向ける上記補給水有りモードと、上記オーバーフロー管外に向ける上記補給水無しモードとを切替えた状態で、上記オーバーフロー管に取付けることができるロック部材を備えている請求項 6 記載の水洗大便器装置。

【請求項 8】

上記ロック部材は、上記補給水有りモードと上記補給水無しモードとを切り替える際にも、上記オーバーフロー管と係合した状態を維持するように形成され、上記オーバーフロー管から外れて脱落することを防止する脱落防止部を備えている請求項 7 記載の水洗大便器装置。